

ツマベニチョウだより 第 29 号

今年になって始めてのお便りを差し上げます。

たくさんの穂木をいただきました。

大淀川学習館の金丸文昭先生から、ギョボクの穂木を 1000 本いただきました。

昨年は日南市の宮浦トンネルのそばに自生しているギョボクの枝を、監督官庁のお許しを得て採らせてもらって穂木としましたが、今年は特に厳しかった寒さのために傷みがひどく、挿し木用には無理と思って金丸先生に穂木をお願いしていました。

先生のお宅のギョボクは、20 年ほど前に鶴戸神宮からもらった苗が大きくなったものだそうで、穂木用の小枝を 100 本位はいただけるかと思って、5 月 13 日に学習館に自転車でもらいに行きましたところ、何と 1000 本もありました。そこで先生は拙宅まで自動車を持参して下さいました。

それも直経 1.5 センチから 2 センチほどの適当なものばかりでしたので、是非全部を挿し木したいと思いましたが自分の能力はせいぜい 200 本です。

一方、次に述べるようなことからギョボクの需要は確実に高まるものと考えましたので、残りの 800 本は以前にお世話になった苗木生産業者の利風園（加藤隆仁社長）に挿し木してもらいました。

穂木の状態が良かったので 1000 本の穂木は、いま拙宅と利風園で芽を出し始めています。秋には見事な苗になってくれるものと期待しています。

観光開発会議で「ツマベニチョウロード」が提言されました。

本年 4 月に「雇用・産業再生委員会 観光産業部会 調査・検討報告書」が、宮崎県によってまとめられました。それは宮崎公立大学の人文学部長玉木徹志教授を座長にした、学識経験者や観光業界の代表者 11 名からなる専門委員が、昨年の 11 月から今年の 3 月にかけて検討して作成されたものです。

内容は 16 ページに及ぶ詳細なもので、宮崎県の観光の現状と課題が検討され、今後取り組むべき諸施策として次の結論が出されています。

観光産業は一次産業から三次産業まで幅広く波及し、県民の雇用に大きな影響を与える。宮崎県観光動向調査結果をみると、総観光客数、観光消費額とも減少しており、特に県外客分は平成 9 年以降 6 年連続して減少している。本県観光振興のためには、次の 4 つの項目を生かした取り組みが必要である。（中 略）

中項目のなかの「観光拠点を軸とした広域連携」のところに

「シーガイア」を軸とした連携

「日南海岸」を軸とした連携

「ひむか神話街道」を軸とした連携

「北きりしま地域観光促進協議会等」を軸とした連携が挙げられ、の中身として「例えばツマベニチョウの蜜源となる花等を植栽しチョウの飛ぶ日南海岸を作り上げ、[ツマベニチョウロード]としてアピールする」とあります。蜜源の花木に先立つものとして、幼虫の餌となるギョボクは欠かせません。そこで私の出番です。

日南市の島中助役様にお願いに参りました。

このような客観情勢を迎え、ギョボクの苗の増産態勢が整った以上私は突貫の一途あるのみと考えて、5月20日に日南市の島中勲助役様をお訪ねしました。県の観光リゾート課からいただいた、さきの「調査・検討報告書」の写しにもとづいて説明した後

「日南海岸の1軒に1本のギョボクを植えて下さい」「そのために1000本のギョボクを挿し木して育てています」とお願いしました。

かねがね深いご理解とご支援を賜っている助役様は、やさしく対応して下さいましたので今後に期待しています。

日南海岸のツマベニチョウの発生状況

5月25日現在における日南海岸のツマベニチョウの発生状況(「サンメッセ日南」以北)は下記のとおりです。このように各地に万遍なく発生が見られますので、今年も着実に増殖してくれそうです。

- | | |
|---------------------|---|
| サンメッセ日南 | 野外のギョボクに卵5個を確認しました。 |
| 鵜戸中学校 | 廊下の飼育ケースで2、3齢幼虫20頭を飼育中です。他に野外のギョボクに卵15個を確認しました。記録によれば4月3日に1頭、11日に2頭が羽化したとのことです。 |
| 宮浦地区 | 大海ドライブインで3齢幼虫32頭をタッパーで飼育中、また甲斐さん宅でも同様に5頭を飼育中とのことです。 |
| 小目井集落 | 卵1個と3齢幼虫1頭を確認しました。「磯や」のおかみの西川米子さんの話では、僅か3本しかないギョボクに産卵が相次ぐがハチにやられていなくなる。是非羽化させてやりたいと、ご自身がタッパーで養っておられました。 |
| 潮小学校 | 卵20個が野外のギョボクについていました。記録によれば越冬のサナギが3頭羽化したとのことです。 |
| オーシャンヒル
オートキャンプ場 | 温室の「蝶の館」内にオス2、メス1頭が飛んでいたほか、大の幼虫50頭と卵15個を確認しました。野外でも卵15個を見つけました。 |

平成16年5月28日

海老原 秀夫